



DataScientist Society

# データサイエンティスト協会における 人材育成の取り組み

～データサイエンティストの職種確立と地位向上に向けて～

Human resource development initiatives in The Japan Data Scientist Society for the job establishment and empowerment of Data Scientist.

2015年2月16日

一般社団法人データサイエンティスト協会

事務局長補佐 橋本 武彦

近年、企業を取り巻く多種多様なデータからデータの持つ様々な力を解き放つ人材として「データサイエンティスト」に注目が集まっています。

弊会は「データサイエンティスト」の職種の確立と地位の向上、並びに業界の健全な発展への貢献を目的に設立された団体です。

本日は人材育成に関わる取り組みについて、産業界の現状や課題を交えて、ご紹介させていただきます。

## 講演者プロフィール

橋本 武彦

一般社団法人データサイエンティスト協会 事務局  
(スキル定義委員会、企画委員会 所属)

株式会社ブレインパッド  
アナリティクスサービス本部 教育サービス担当  
(慶應SFC データビジネス創造・ラボ担当、立教大学 データサイエンティスト  
養成講座)

1975年生。大学卒業後、システムインテグレータでエンジニアおよび研究員、調査会社でマーケティング・リサーチャーとして従事。2008年ブレインパッドに入社。広告会社や通販企業などさまざまなクライアント企業のデータ分析プロジェクトにデータサイエンティストおよびプロジェクトマネージャーとして従事。また、その経験を活かして新卒を中心とした自社向けの人材育成プログラムに携わる。

2012年7月よりプロジェクトマネージャーとして、データサイエンティスト育成分野での教育ビジネスを担当（現職）。

2013年5月より一般社団法人データサイエンティスト協会の立ち上げに参画し、事務局長補佐を務める。

KXEN Professional Certificationを保有。

著書に「データサイエンティスト養成読本（共著、技術評論社）」、「統計学ガイダンス（共著、日本評論社）」がある。

1. データサイエンティスト協会について（3分）
2. 産業界におけるデータ活用の実態（7分）
3. データサイエンティストの定義（10分）
4. 今後の活動予定（5分）

1. データサイエンティスト協会について（3分）
2. 産業界におけるデータ活用の実態（7分）
3. データサイエンティストの定義（10分）
4. 今後の活動予定（5分）

# データサイエンティスト協会の概要

団体名称

和文：一般社団法人 データサイエンティスト協会  
英文：The Japan DataScientist Society  
URL：<http://www.datascientist.or.jp>



一般社団法人  
データサイエンティスト協会

設立日

2013年5月15日

目的

社会のビッグデータ化に伴い重要視されているデータサイエンティスト（分析人材）の育成のため、その技能（スキル）要件の定義・標準化を推進し、社会に対する普及啓蒙活動を行う。

分析技術認定（レベル認定）などの活動を通じて、分析能力の向上を図るための提言や協力を惜しまない支援機関として、高度人材の育成とデータ分析業界の健全な発展に貢献する。

代表者

草野 隆史

所在地

東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル

## 設立の背景

### データサイエンティストの定義が不在

#### 定義がないことが及ぼす影響

##### 企業

(サービス受入側)

- ・発注前の段階で、プロジェクトのゴールや成果が見えにくい。
- ・複数社の検討段階において、技術レベル、人材能力の比較が困難。
- ・期待したとおりの人材かどうか不明瞭。

(サービス提供側)

- ・自社の現状レベルはどれくらいか。強み、弱みは何か。  
～誰がどのようなスキルを保有しているのか。  
どの程度の待遇とすべきか。
- ・今後、誰をどのように育成していけばよいか。

etc

##### 個人

- ・データサイエンティストを目指すには、何をすればいいか。
- ・自分のデータサイエンティストとしての現状レベルはどれくらいか。強み、弱みは何か。

etc

期待役割と  
スキルセットの  
ミスマッチ

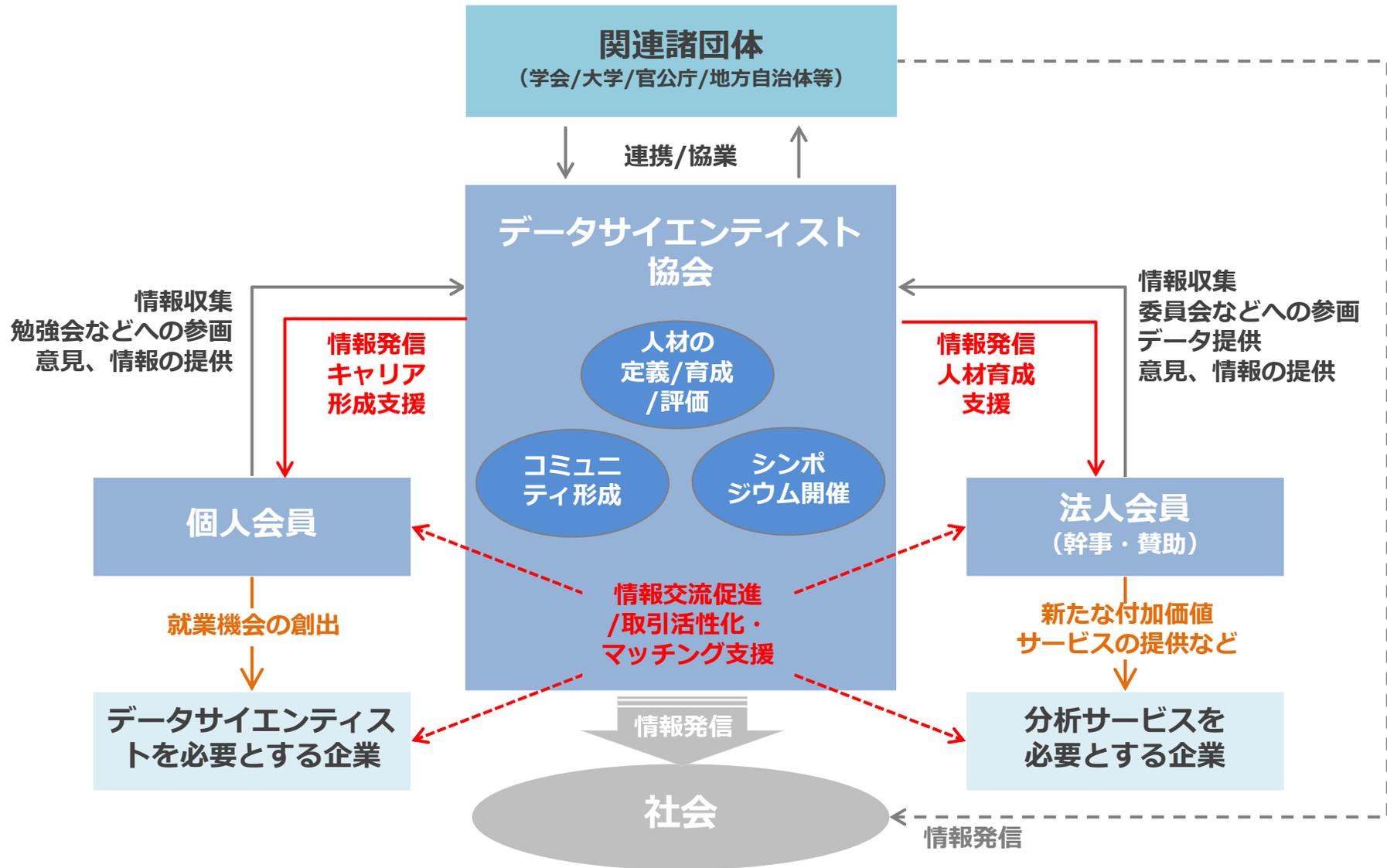


分析の  
十分な効果が  
生まれない/  
データサイエン  
ティストの  
経験・能力が  
活かさない



ビッグデータ  
市場の健全な  
発展に影響

# 協会の全体像



(ご登録等の状況)

法人会員：**36社**

一般会員：**2,155名**

Facebook いいね！：**3,697名**

Facebookグループ登録者数：**1,772名**

# 法人会員一覧（幹事：7社／賛助：29社）

会社名50音順

区分	団体名
幹事会員	SAS Institute Japan株式会社
幹事会員	株式会社電通
幹事会員	日本アイ・ビー・エム株式会社
幹事会員	株式会社博報堂DYメディアパートナーズ
幹事会員	株式会社ブレインパッド
幹事会員	株式会社ブロードバンドタワー
幹事会員	ヤフー株式会社

区分	団体名
賛助会員	アイウェイズ株式会社
賛助会員	株式会社ALBERT
賛助会員	株式会社インテージ
賛助会員	株式会社インテリジェンス
賛助会員	インフォコム株式会社
賛助会員	ウイングアーク1st株式会社
賛助会員	エン・ジャパン株式会社
賛助会員	株式会社オープンストリーム

区分	団体名
賛助会員	株式会社オープンストリーム
賛助会員	株式会社オリコム
賛助会員	サイバネットシステム株式会社
賛助会員	株式会社シイエヌエス
賛助会員	GMO NIKKO株式会社
賛助会員	株式会社ジーリサーチ
賛助会員	損害保険ジャパン日本興亜株式会社
賛助会員	株式会社タクミンフォメーションテクノロジー
賛助会員	テクノスデータサイエンス・マーケティング株式会社
賛助会員	デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社
賛助会員	株式会社電通国際情報サービス
賛助会員	ドーモ株式会社
賛助会員	日本サード・パーティ株式会社
賛助会員	日本電気株式会社
賛助会員	株式会社博報堂プロダクツ
賛助会員	株式会社日立インフォメーションアカデミー
賛助会員	Pivotalジャパン株式会社
賛助会員	富士通株式会社
賛助会員	フュージョン株式会社
賛助会員	株式会社分析屋
賛助会員	三菱電機インフォメーションシステムズ株式会社

# 個人・法人会員への情報発信

OPEN

## 協会HP

- ・活動リリース発信
- ・成果物の公開
- ・イベント情報発信



## Facebook/Twitter

- ・活動リリース発信
- ・イベント情報発信
- ・各種トピック発信



## 各種イベント

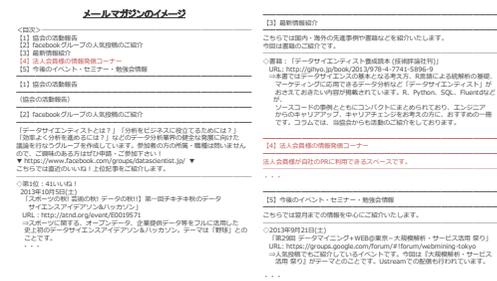
- ・シンポジウム/フォーラム
- ・勉強会/ハッカソン等
- ・各種セミナーへの出展等



## 会員向けメール

- ・リリース前情報の発信
- ・協会内部活動の報告
- ・各種情報の先行発信

CLOSE  
(要会員登録)



## Facebookグループ

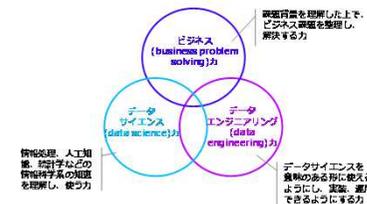
- ・個人会員の情報共有の場
- ・ディスカッションの場
- ・会員企業の先行情報入手



## 委員会活動

- ・人材定義等の集中討議の場
- ・調査・研究等の活動の場
- ・協会活動の企画の場

DataScientist Society  
データサイエンティストに求められるスキルセット



1. データサイエンティスト協会について（3分）
2. **産業界におけるデータ活用の実態（7分）**
3. データサイエンティストの定義（10分）
4. 今後の活動予定（5分）

目的やGoalが不明瞭、手段が目的化

～分析環境の導入や高度な分析手法の要求

～導入後使われないツール群、etc

分析への過剰な期待

～ビッグデータを分析すれば何か結果は出る？

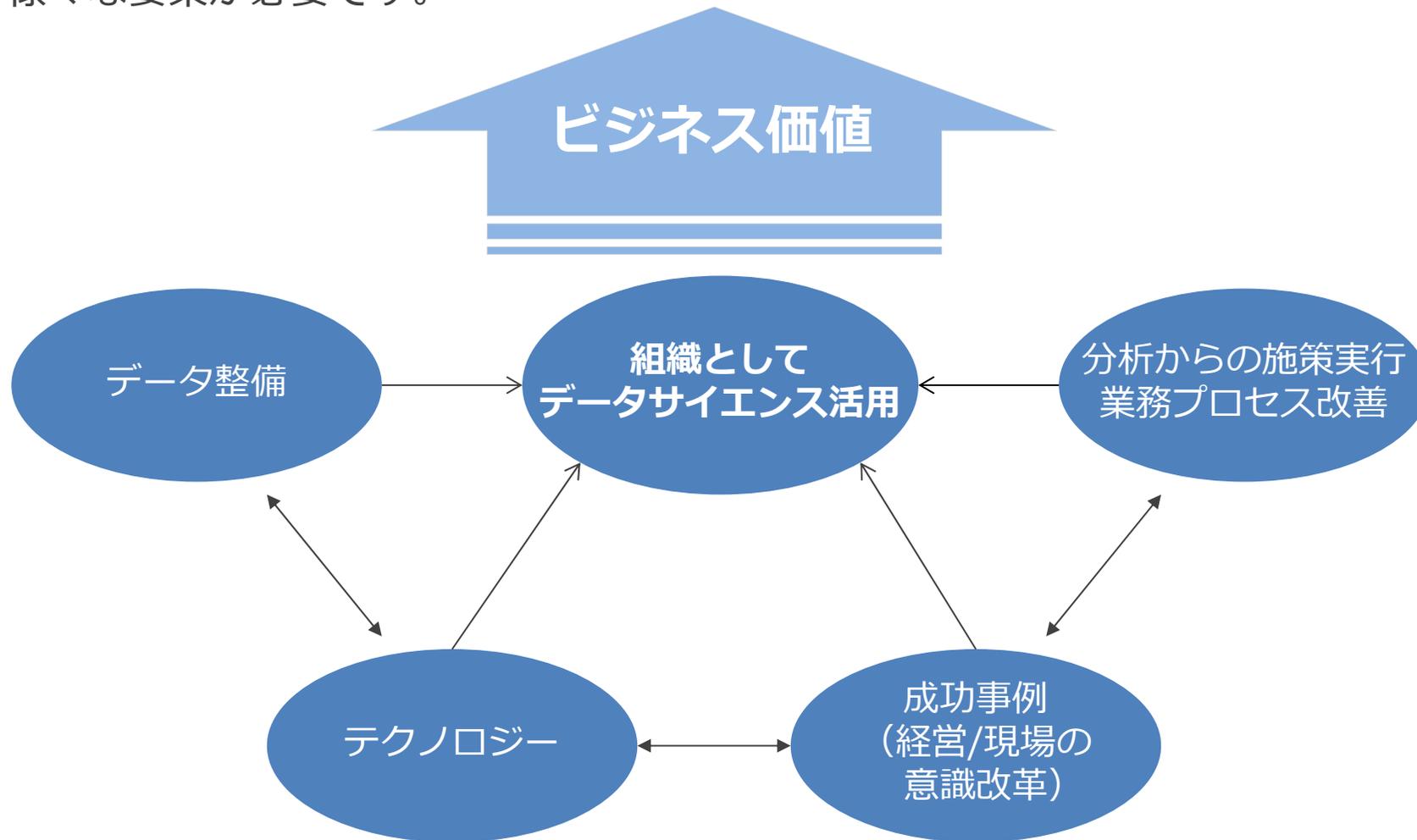
～何で予測が外れるの？、etc

現場の勘と経験“のみ”が重視

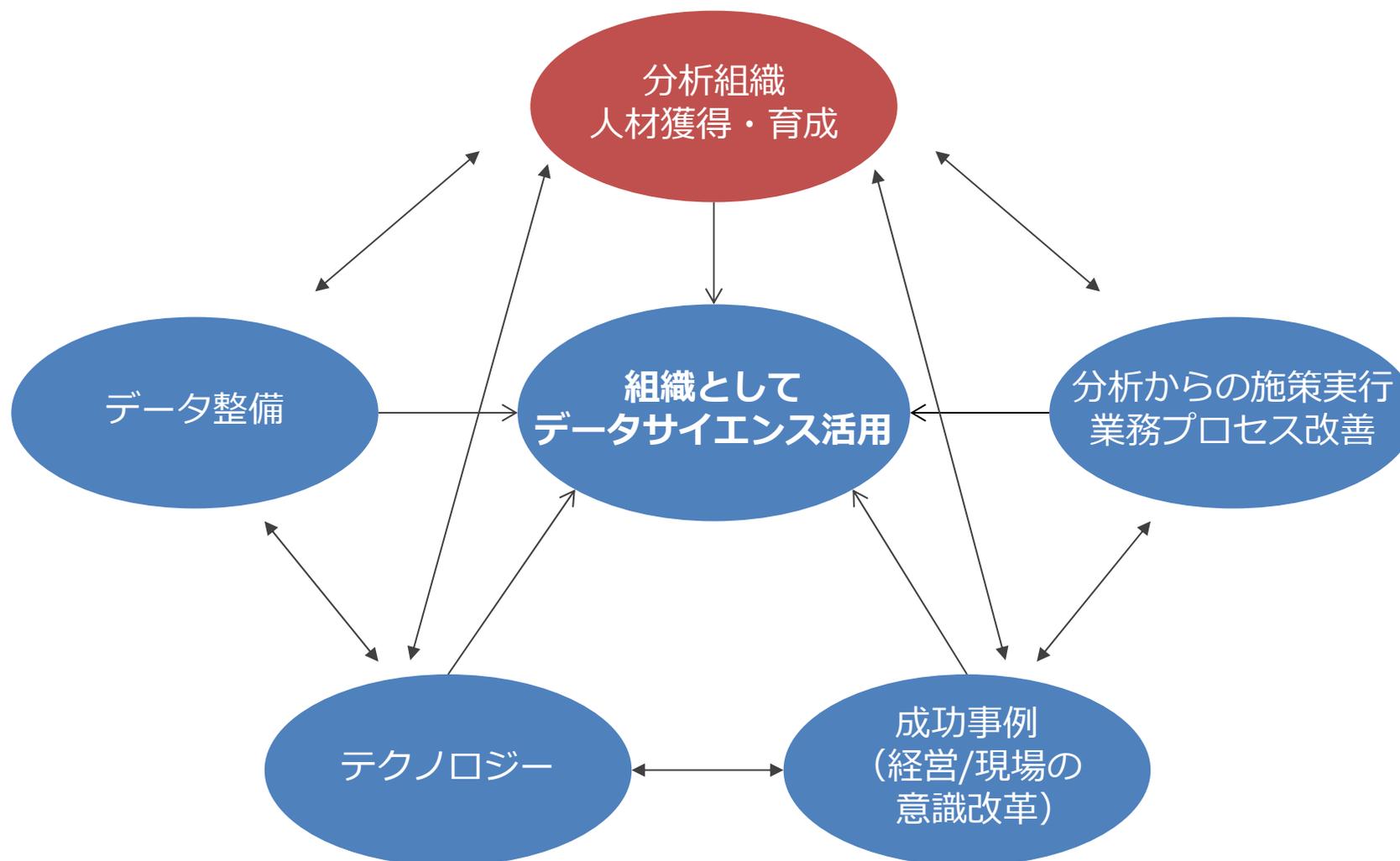
～採用されない分析からの施策提案、読み捨てられるレポート、etc

## 企業における分析・データ活用の目指す姿

- 組織としてデータサイエンスを活用し、ビジネス価値を出していくためには、様々な要素が必要です。

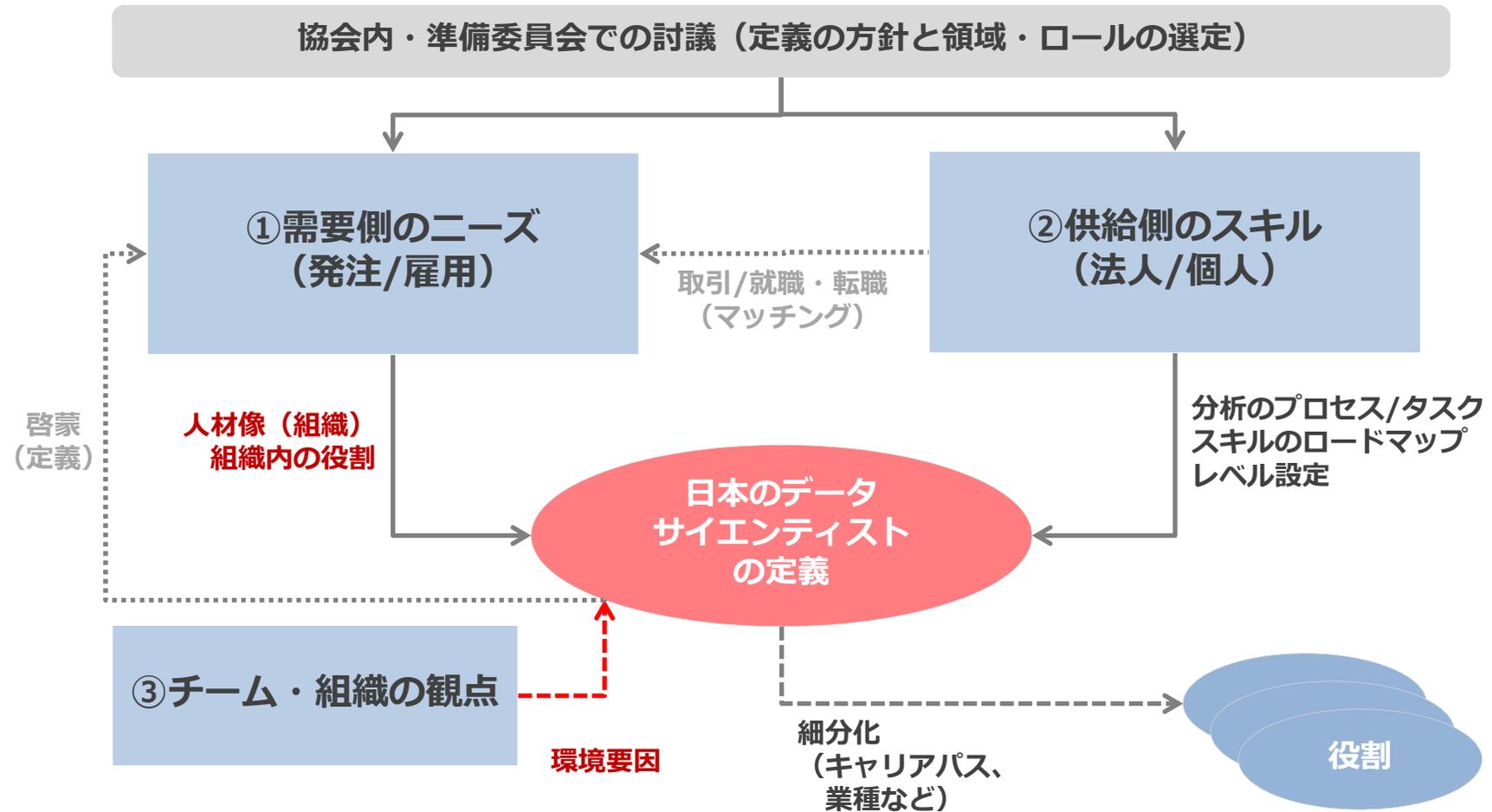


# ボトルネックは“組織”と“人材”



※参考. 分析組織について、考える事の重要性

(準備委員会資料)

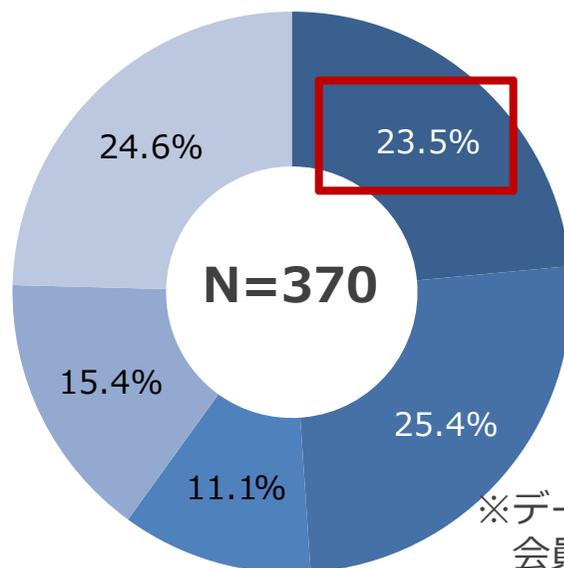


データサイエンティスト個人のスキルに加えて組織における役割や、チームの観点が必要

- 分析を組織的に意思決定に活用できているところは多くありません。
- その中で、分析・データ活用を戦略的に行い、全社に関わる判断に用いている企業を分析・データ活用の「先進組織」と定義し、課題認識などを探りました。

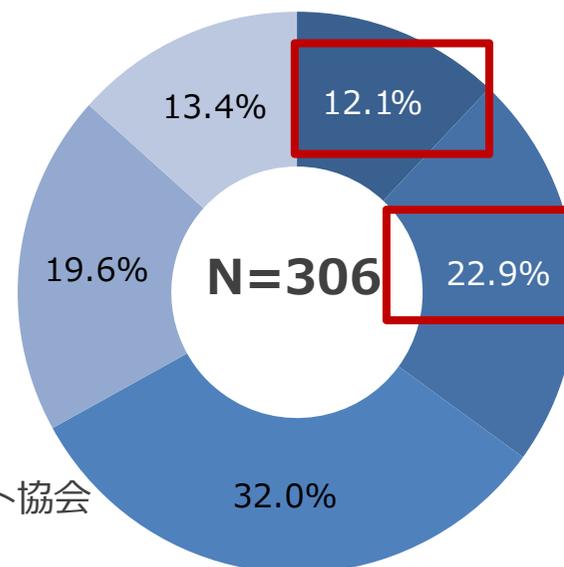
### 組織的な分析への取組レベル

- 全社に関わるレベル
- 事業部・部レベル
- 課レベル
- チームレベル
- 個人レベル



### 分析を意思決定に用いているレベル

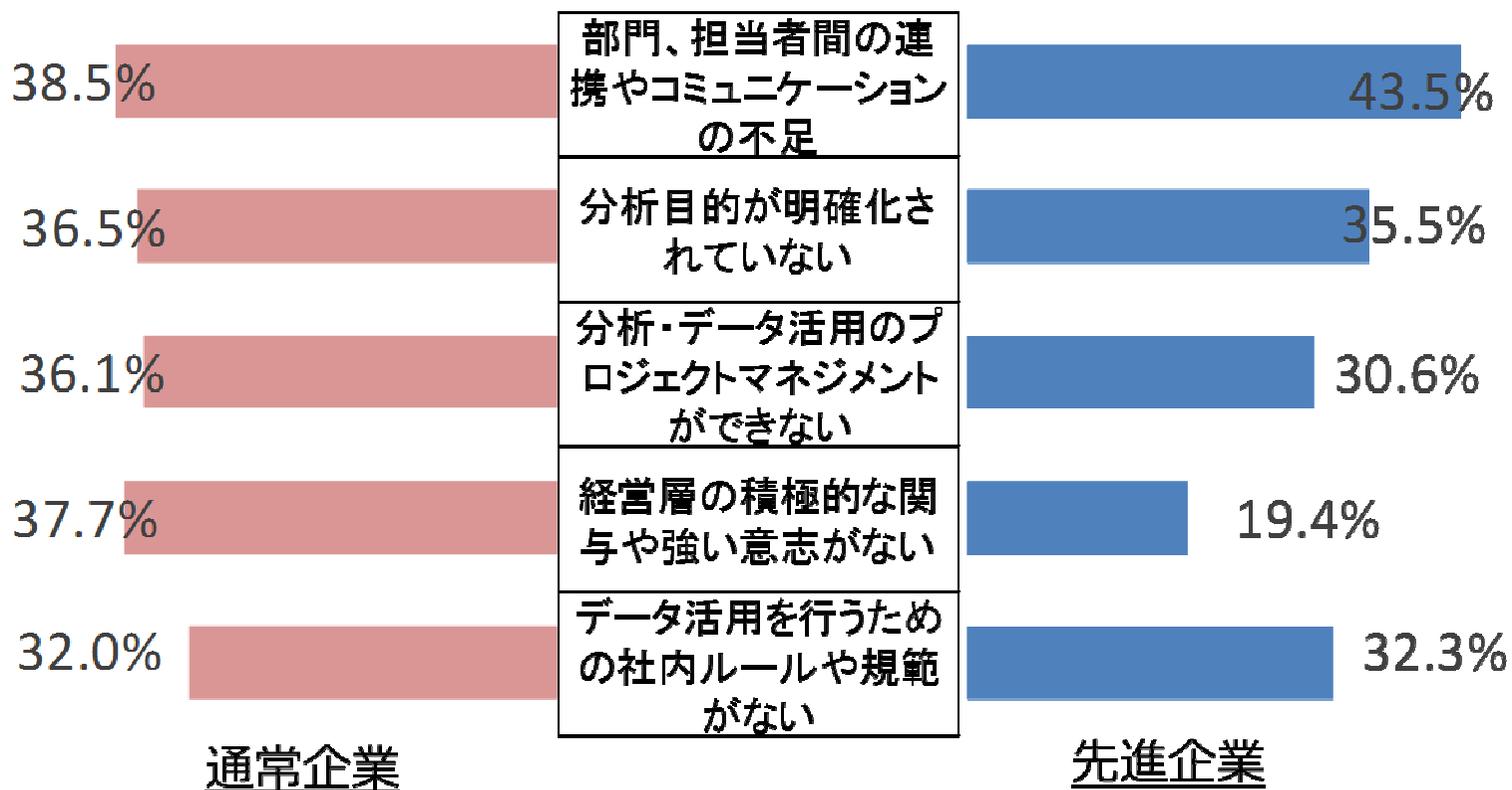
- 企業戦略レベル(事業の根幹に関わる)
- 企業戦略レベル(戦略立案・方向性決定など)
- 継続的な運用改善レベル(改善提案～検証のPDCAなど)
- 個別の運用改善レベル(効果検証など)
- 分析を意思決定に用いていない



※データサイエンティスト協会  
会員アンケート  
不明を除く

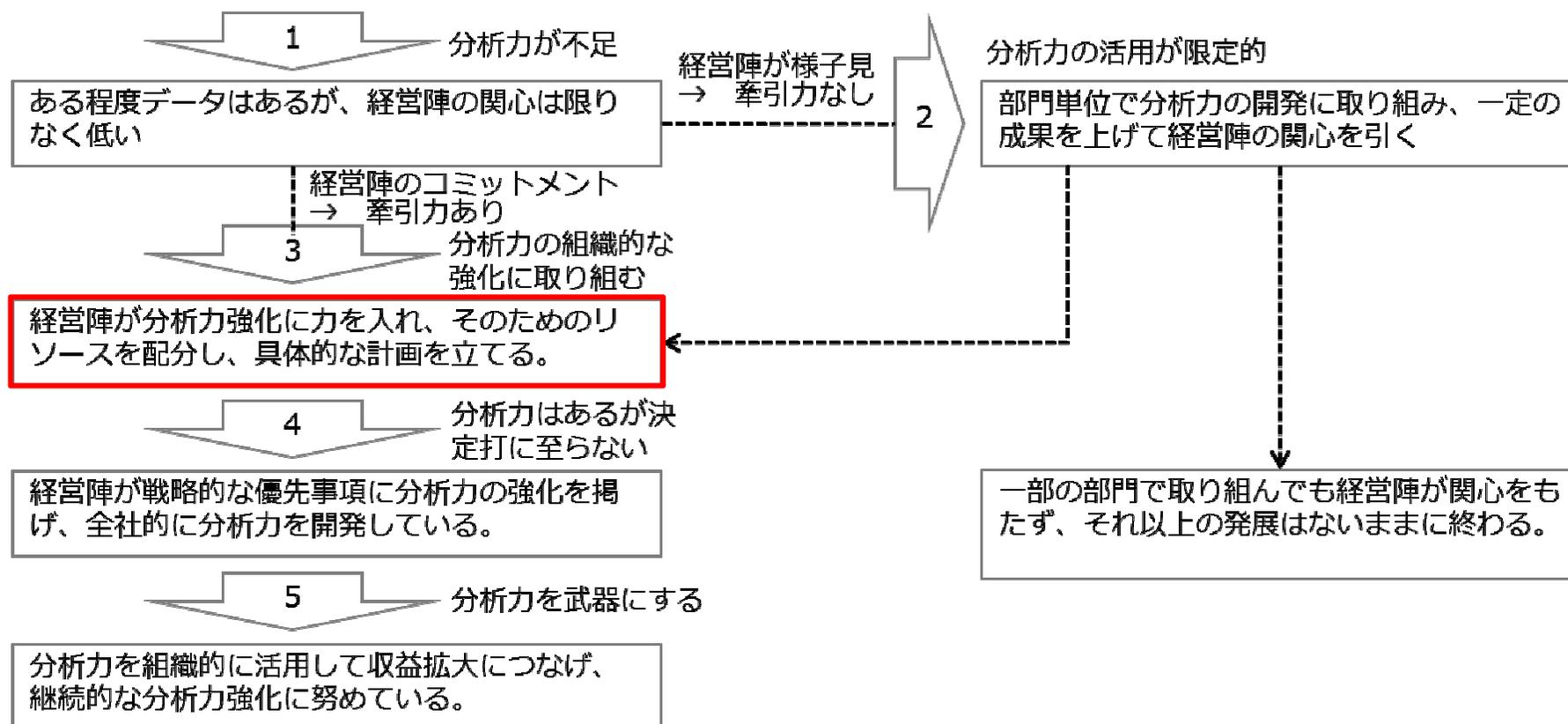
## 分析・データ活用促進における課題

- 多くの分析組織では以下の3つの点について強い問題意識を持っています。ビジネス環境や課題に応じた人材育成、要請、外部からの採用を柔軟に行う受け皿としての機能が圧倒的に不足していることが伺えます。



## 分析組織の変遷（ある企業の例）

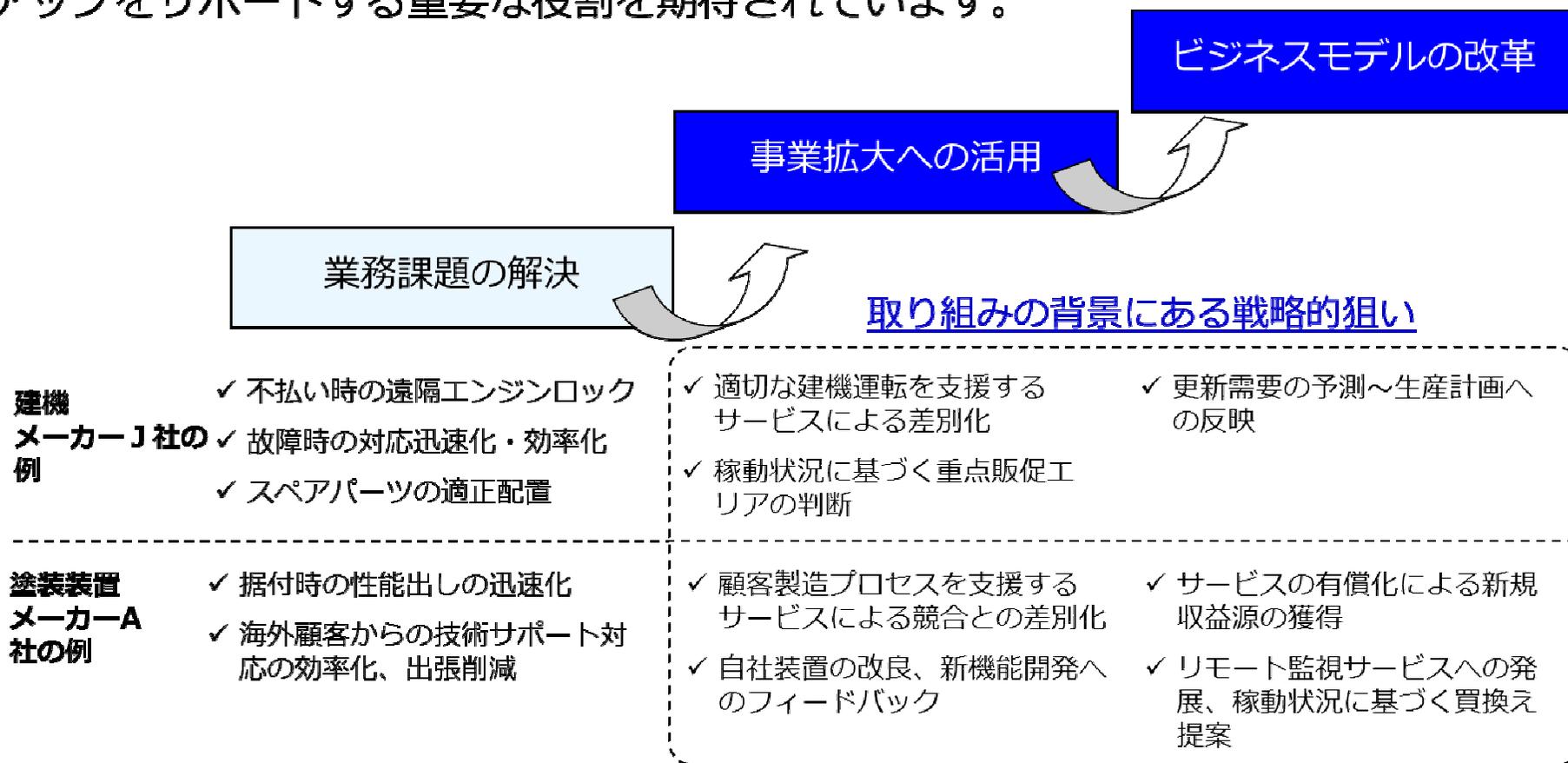
ビジネス理解力と分析力を高めながら経営課題に優先順位付けを行っていく。活用範囲が広がらず、頓挫することもある



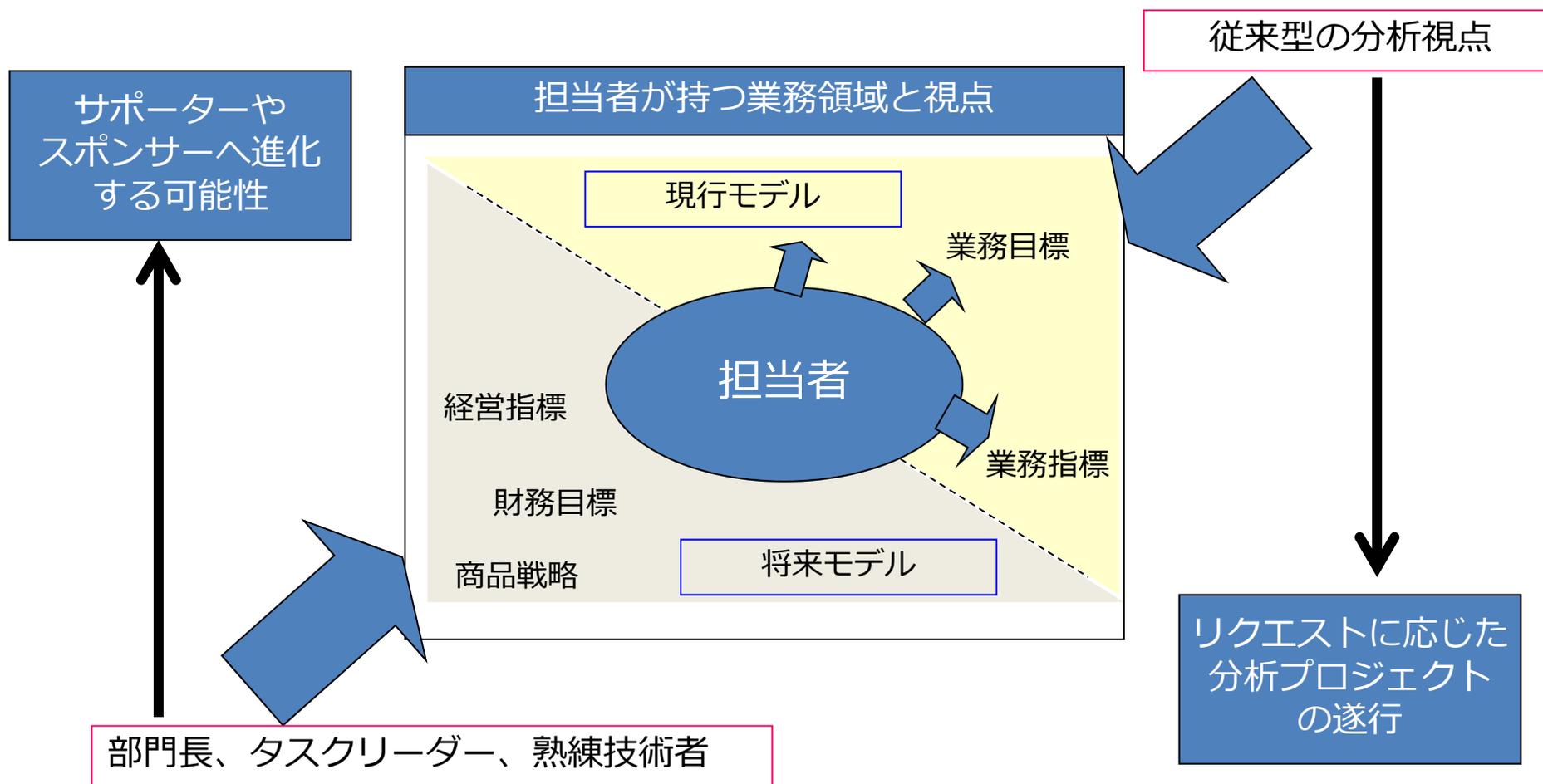
## データサイエンス組織の成長モデル

	課題解決型	プロジェクト遂行型	全社提案型	イノベーション創出型
目標	短期での成果を求められる 緊急性の高い課題を解決する	確立された解決策の洗練化 と他セグメントへの展開を担う	データ分析スキルの活用による 自社ビジネス強化のための 案件創出を行う	ビジネス現場のマインドシフト、 サービスモデルの変革を促す
体制	対象事業体配下を含む 兼任（数人規模）	タスクフォースを中心に 外部、準外部発注リソースを利用	CIOまたはCOO管轄での 専門組織化（十数人）	専門組織の拡充 経営企画室、社長室管轄 （数十人）
予算	事業体負担	事業体負担	案件別に事業体負担	経営及び事業企画費用
人材	データ収集/統計解析スキル 中心	データ収集/統計解析スキル 中心	現場オペレーション/ ビジネススキル中心	経営視点/論理的思考
リーダーシップ	タスク調整	プロジェクト管理	案件管理 達成感社外認知度醸成	事業計画立案
対外活動	なし	他社との情報交換	社外講演	事業連携
活動の主眼	データ整理と分析手法の 確立	分析範囲とシナリオの網羅性、 部門最適	結果を「使わせる」工夫	対立する指標を紐解く 全社最適
テーマ例	歩留まり改善、Web マーケティング改善	歩留まり改善、Web マーケティング改善	保守サービス活動支援 営業活動支援	性能保証サービス ソーシャルメディア活用
分析力指数	30%	55%	70%	95%

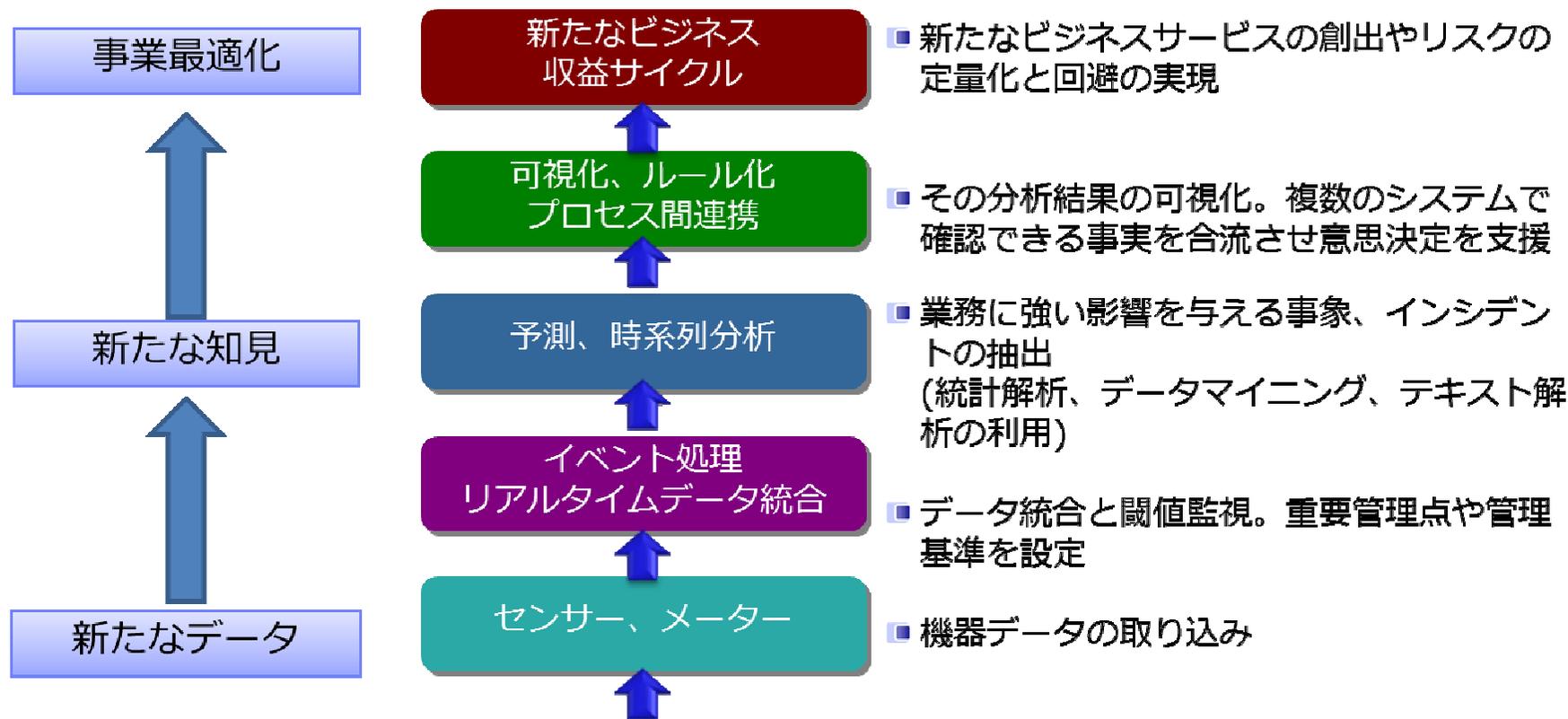
- 多くの企業は業務課題の解決に加えて、競合との差別化や新サービス開発、中長期的なビジネスモデル改革など、より戦略的な狙いを持ってデータ分析に取り組んでいます。データサイエンティストはビジネスイノベーションを含む企業のステップアップをサポートする重要な役割を期待されています。



「みつける」「結果を出す」から「使ってもらう」ための着眼点



### 蓄積するデータと企業の求めるビジョンの間をつなぐこと



#### M2Mインフラ

- 識別(Identity)
- 位置(Location)
- 計測(Measure)
- 条件(Condition)



送電網  
Grid



シティ/交通  
City/Traffic



天然資源  
Rig



工場設備  
Plant



交通機関  
Trains



自動車  
Vehicle



建機  
Equipment

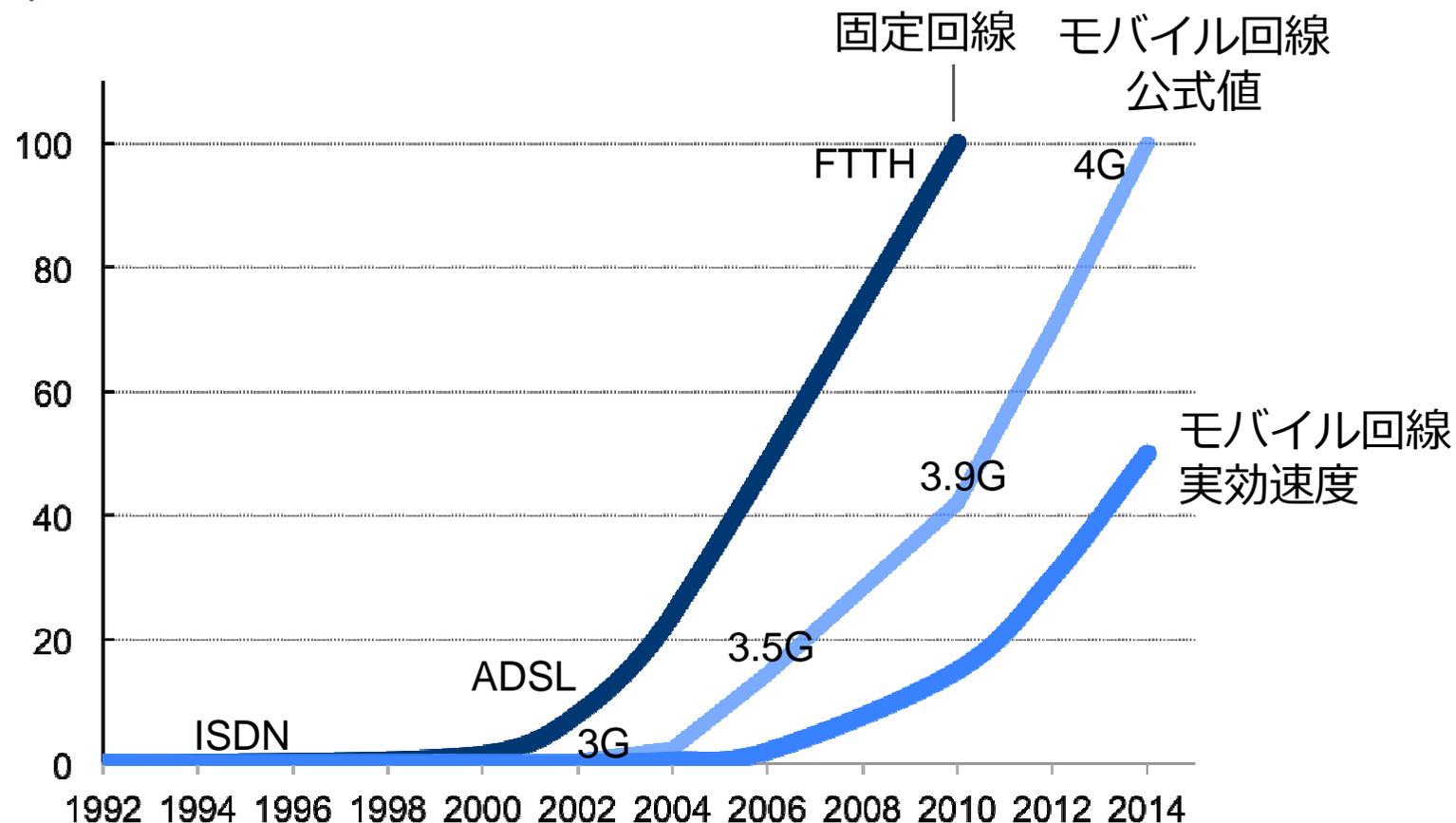


船舶  
Ship

1. データサイエンティスト協会について（3分）
2. 産業界におけるデータ活用の実態（7分）
- 3. データサイエンティストの定義（10分）**
4. 今後の活動予定（5分）

### データの爆増

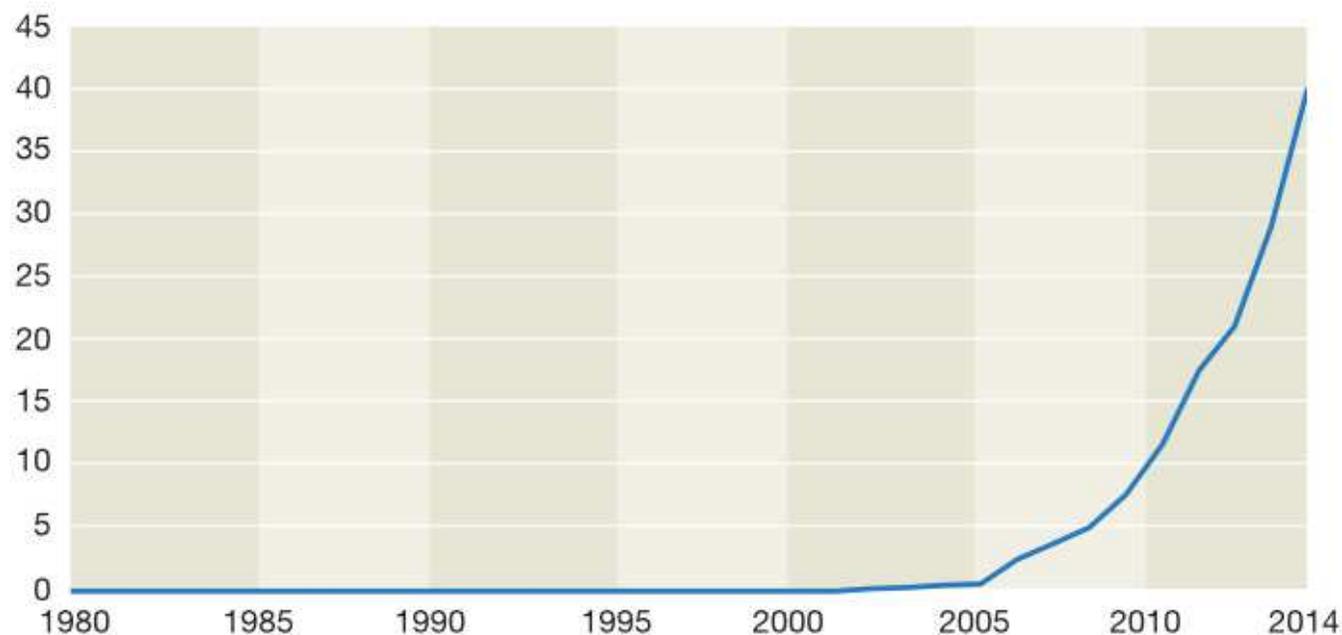
(単位：Mbps、下り通信速度)



Source: 「第104回電波利用懇話会」資料、NTTドコモレポート、NTT「ICTの新潮流とテレワーク」資料、実効速度は各種Web記事

## 計算キャパシティの爆増

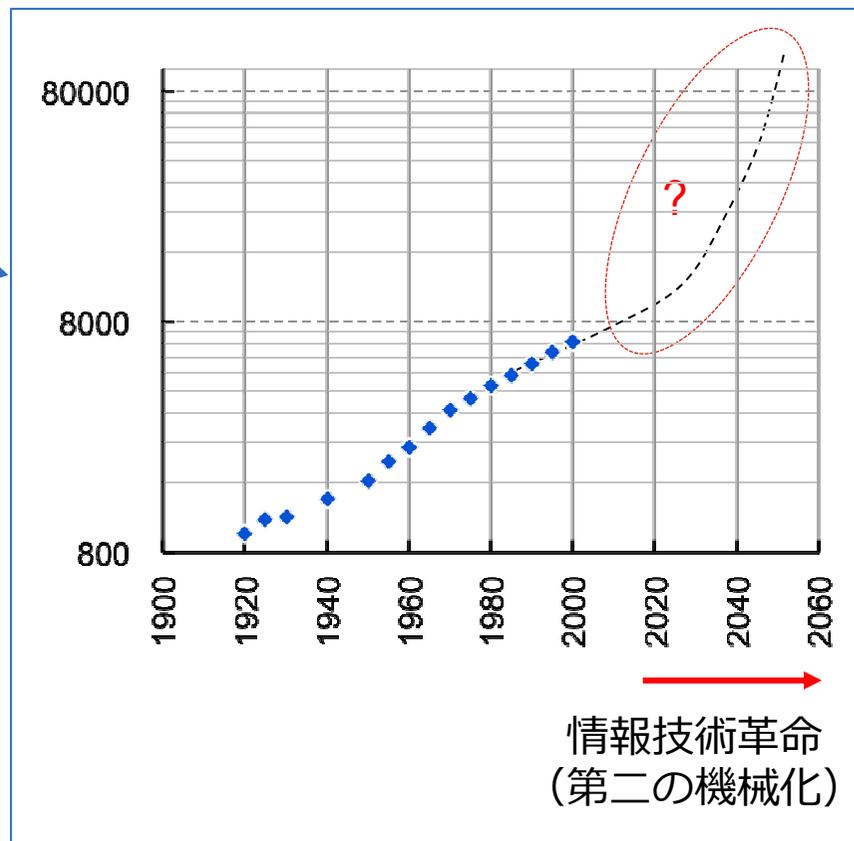
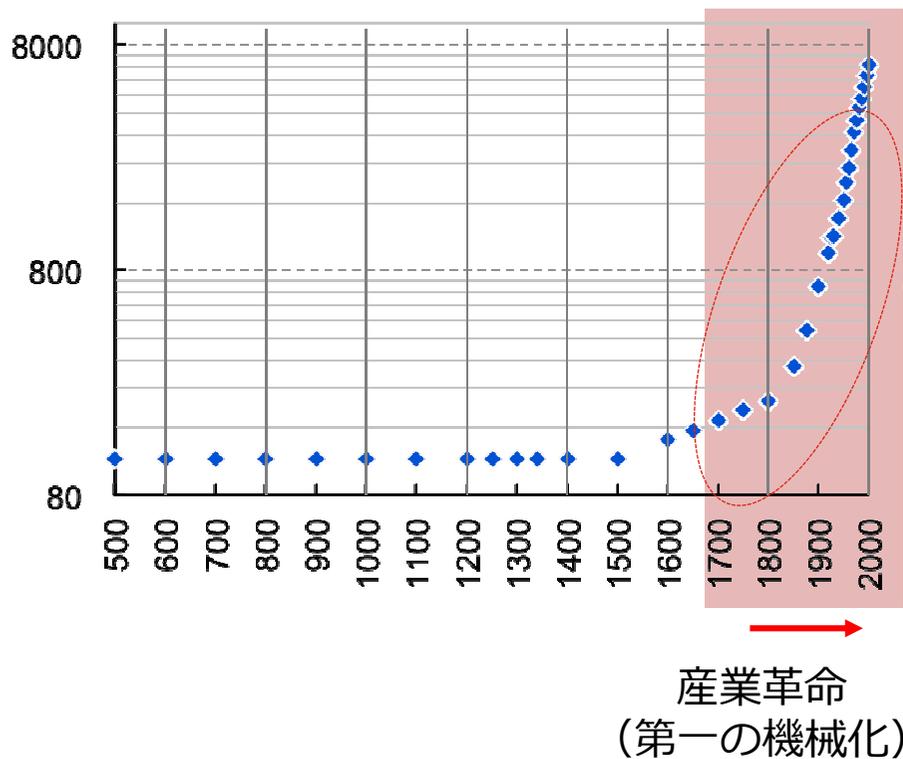
Annual additions to global business and consumer computing power, exaflops<sup>1</sup>



<sup>1</sup>An exaflop is 1 quintillion (10 to the 18th power) floating-point operations per second.

Source: William D. Nordhaus, "Two centuries of progress in computing," *Journal of Economic History*, 2007, Volume 67, Number 1, pp. 128–59; IDC; US Bureau of Economic Analysis; McKinsey analysis

## 一人あたりGDPの推移 (1990 International Dollars)



Source: J. Bradford DeLong "Estimating World GDP, One Million B.C. - Present" (1998)

## データ利活用実現に向けた課題の広がり(例)

### 環境構築・運用

- データ収集
- データ結合・統合
- 分散処理基盤
- データウェアハウス、データマート
- データ構造の設計
- 暗号化
- ABテスト環境
- データ可視化ツール
- サイエンスの実装

### 基礎情報処理

- データクレンジング
- 構造化
  - 自然言語
  - 画像
  - 映像
- アルゴリズム構築
  - サービス提供
  - 購買、販売
  - 広告、販促
  - 病気、健康
  - 災害
  - 政治
  - エネルギー
  - 犯罪
- データ可視化

### 分析・課題解決

- **異常の検出・把握**
  - 災害、epidemic
  - 健康、機械トラブル
- **予測・ニーズ検出**
  - 購買、利活用
  - 需要、景気
  - 選挙結果、支持率
  - 発症リスク
  - 農作物の出来
- **自動化**
  - 与信、保険リスク査定
  - 病理診断、手術
  - 乗り物の運転
  - 空調、室内管理
- **最適化**
  - デザイン、価格設定
  - 在庫、生産、受発注
  - 運行、物流ルート
  - 広告、商品、コンテンツ掲出

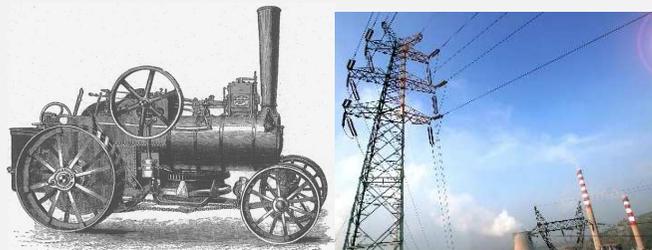
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

### 「データの持つ力を解き放つ」のがミッション

新しい  
リソース

#### 産業革命 (18~20世紀)

- 石炭と石油
- 蒸気機関
- 電気工学



本質

- 人間と家畜を肉体労働、手作業から開放する

#### 情報技術革命 (現在)

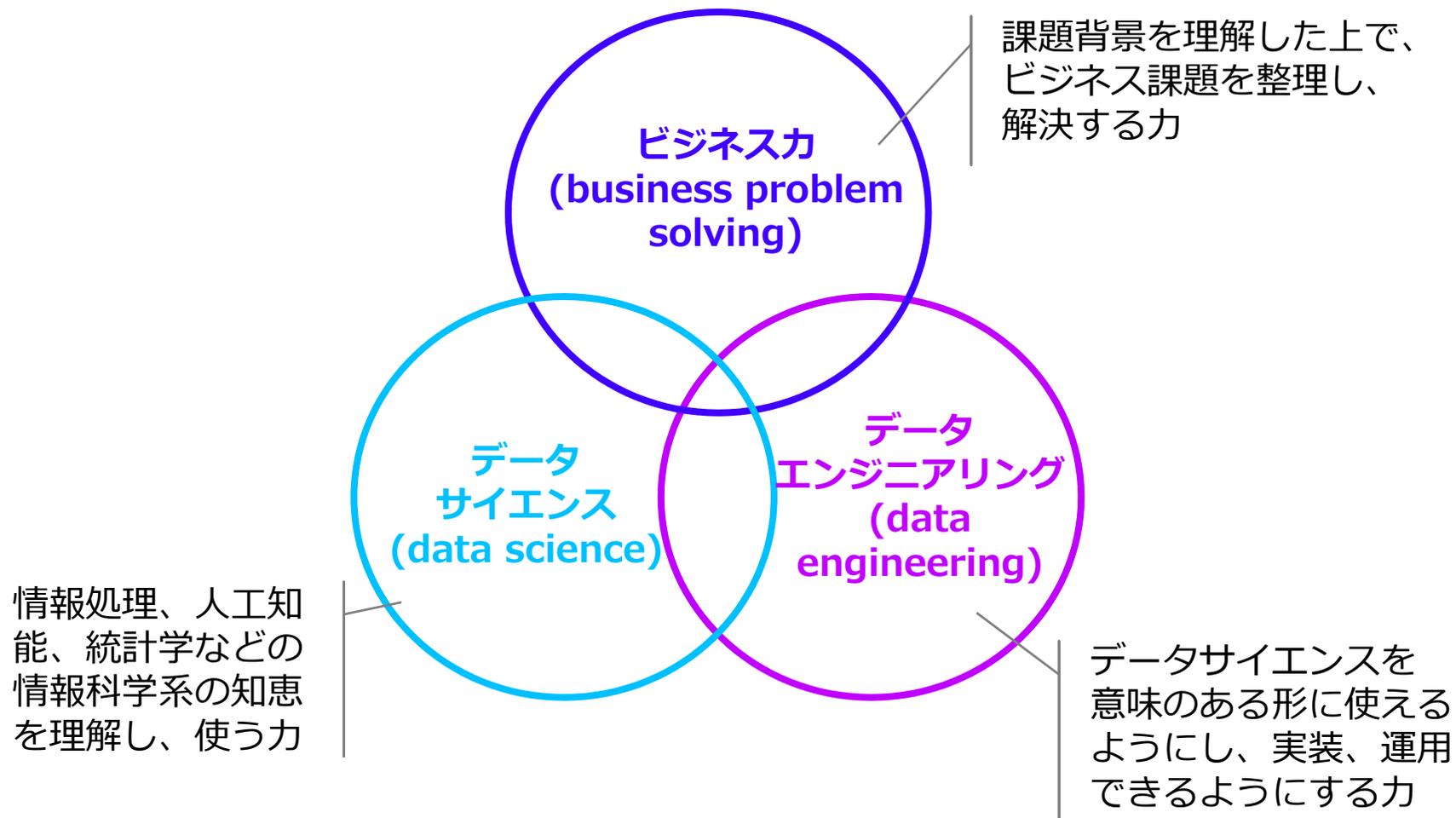
- センサーとデータ
- 高い計算能力
- ブロードバンド
- ワイヤレスネットワーク



- 人間を退屈な数字入力、情報処理作業から開放する

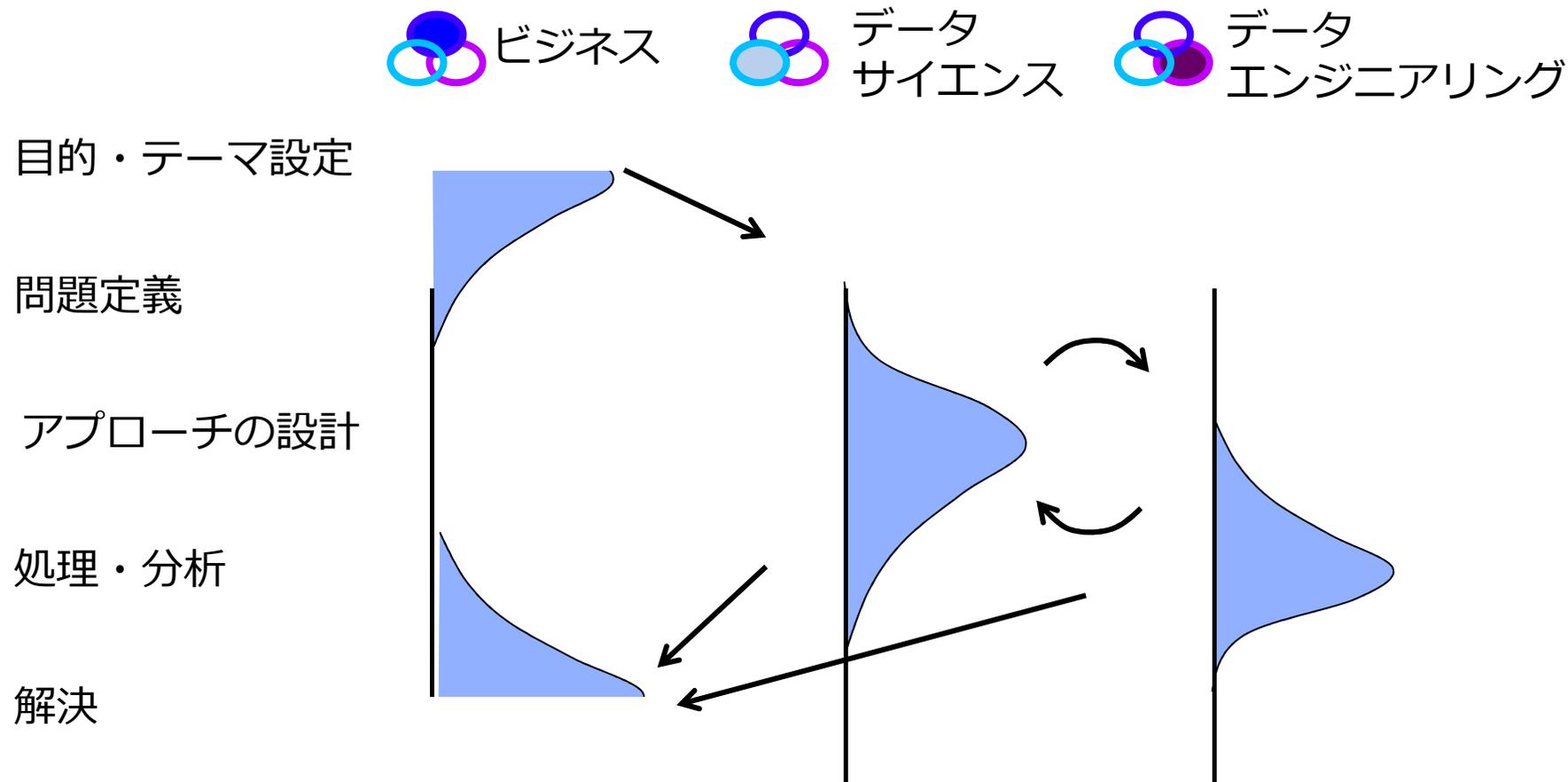
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## 3つのスキルセット



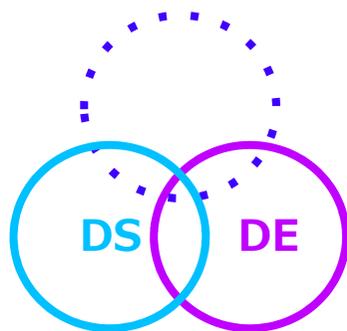
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## 課題解決のフェーズによって核となるスキルが変わる



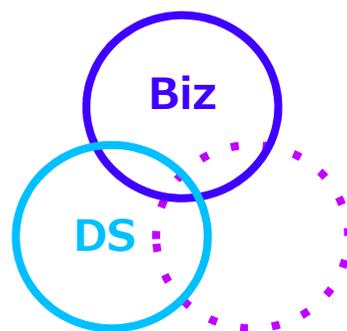
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## どの一つが欠けてもダメ、、、優位はない



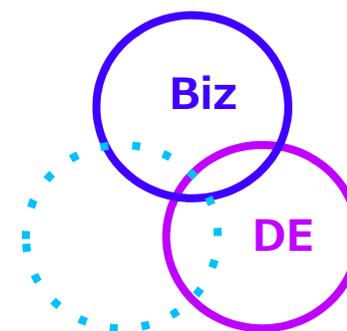
データスペシャリストではあるが、そもそも解決すべき問題が定義、整理できない

> プロフェッショナルではない



ビジネス課題もわかりそこでのサイエンスの利活用もわかるが実装できない

> 必要な変化を起こせない



ビジネス課題の上で、実装を用意できるが、かなめとなるサイエンスの知恵が足りない

> 賢いやり方を提供できない

Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## データサイエンティストとは、

データサイエンス力、  
データエンジニアリング力をベースに  
データから価値を創出し、  
ビジネス課題に答えを出す  
プロフェッショナル

\* ここで「ビジネス」とは社会に役に立つ意味のある活動全般を指す

Source: The Japan Data Scientist Society discussios

## スペシャリスト

- 何らかの分野に特化した人

## エキスパート

- 何らかの分野について体系的で秀でた知識とスキルを持っている人

## プロフェッショナル

- 体系的にトレーニングされた専門性を持つスキルを持ち、
- それをベースに顧客（お客様、クライアント）にコミットした価値を提供し、
- その結果に対し、認識された価値の対価として報酬を得る人

Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## スキルレベル

	スキルレベル	目安	対応できる課題
データサイエンティスト	シニア・データサイエンティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>業界を代表するレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>産業領域全体</li> <li>複合的な事業全体</li> </ul>
	(フル・)データサイエンティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>棟梁レベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>対象組織全体</li> </ul>
	アソシエート・データサイエンティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>独り立ちレベル</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当プロジェクト全体</li> <li>担当サービス全体</li> <li>プロジェクトの担当テーマ</li> </ul>
	アシスタント・データサイエンティスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>見習いレベル</li> </ul>	
一般人	データ使い	<ul style="list-style-type: none"> <li>賢くデータを器用に使える人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>担当業務</li> </ul>
	普通の人	<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>	

Source: The Japan Data Scientist Society discussios

## DS以前の人 vs アシスタント・データサイエンティスト

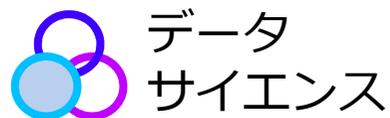


ビジネス

- Assistant
- DS
- (見習いレベル)

DS以前の人

- ビジネスにおける論理とデータの重要性を認識している
- 仮説や既知の問題が与えられた中で、必要なデータに当たりをつけて、データを用いて改善することができる
- 扱っている課題領域（例：配送の最適化）における基本的な課題の枠組みが理解できる
- ビジネスは勘と経験で回すものだと思っている
- 課題を解決する際に、そもそも定量化する意識が無い



データサイエンス

- 基本統計量（平均、中央値など）の知識を有し、指示されればデータの抽出、グラフ作成を正しく行うことができる
- 基本統計量の意味を正しく理解していない
- 指数を指数で割り算したりする
- 「平均年収」をそのまま鵜呑みにしたりする
- グラフ、チャートの使い方が不適切



データエンジニアリング

- 一般的なアクセス解析システムを使うことができる
- 抽出されたデータサブセットに対し、ExcelやAccess等の統合環境を用い、目的に応じた処理をすることができる
- レポートされてくる数値サマリに目は通すが、特に記憶には残らない
- アクセス解析システムを使っていない
- ExcelやAccessは数字しか入れない

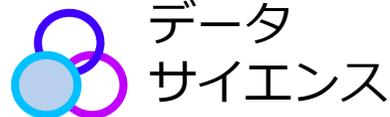
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## 見習いレベルと独り立ちレベルを分けるもの



ビジネス

- Associate
  - DS
  - (独り立ちレベル)
- 仮説や既知の問題が与えられた中で、**最適解・最大解**を見出すことができる
  - 扱っている課題領域で**新規の課題を切り分け、構造化**できる
  - **当該PJ・サービスを越えて、必要なデータの当たりをつける**ことができる



データサイエンス

- SPSS/SAS/R等が使える。指示されなくても**サンプル抽出**ができるとともに内容を確認できる。
- **データクレンジング、分布、単回帰やP値**の概念を理解し、活用することができる（二次元の分析はできる）



データエンジニアリング

- **大規模のファイルや、データベース**にアクセスし、大量の構造化データを処理することができる（一般的なスプレッドシートで処理不能な規模感への対応力）

- Assistant DS (見習いレベル)
- ビジネスにおける論理とデータの重要性を認識している
  - 仮説や既知の問題が与えられた中で、必要なデータに当たりをつけて、データを用いて**改善**することができる
  - 扱っている課題領域（例：配送の最適化）における**基本的な課題の枠組みが理解**できる

- **基本統計量**（平均、中央値など）の知識を有し、指示されれば**データの抽出、グラフ作成**を正しく行うことができる

- **一般的なアクセス解析システム**を使うことができる
- 抽出されたデータサブセットに対し、**ExcelやAccess等の統合環境**を用い、目的に応じた処理をすることができる

Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## 独り立ちレベルと棟梁レベルを分けるもの



### ビジネス

• Full

• DS

• (棟梁レベル)

- 分析を通じ**オペレーション上の革新**が実現できる
- 仮説や可視化された問題がない中で**(フレーミングされていない)**、適切に問題を定義し、解き、価値を見出すことができる
- 特定の課題領域において、課題と取組のテーマを**構造的に整理**し、見極めるべき論点をクリアにできる
- **組織全体を見渡して**、必要なデータの当たりをつけることができる。



### データサイエンス

- **多変量解析**の概念を理解し、活用することができる
- **機械学習、自然言語、画像処理のアルゴリズム**を理解し、適切に活用、問題解決することができる
- **モデル**を構築できる



### データエンジニアリング

- 分析に必要な**データフォーマット、取得蓄積仕様**等を設計できる(分析のためのデータシステム設計ができる)
- 問題設定に応じた**新規データマート設計**ができる
- 構造化データ/**非構造化データ**を問わず、分析システムを設計できる
- 構築したモデルを**実装**できる
- データ分析を作ったシステムを自身で**構築**できる

Associate DS (独り立ちレベル)

- 仮説や既知の問題が与えられた中で、**最適解・最大解**を見出すことができる
- 扱っている課題領域で**新規の課題**を切り分け、**構造化**できる
- **当該PJ・サービスを越えて**、必要なデータの当たりをつけることができる

- **SPSS/SAS/R等**が使える。指示されなくても**サンプル抽出**ができるとともに内容を確認できる。
- **データクレンジング、分布、単回帰やP値**の概念を理解し、活用することができる(二次元の分析はできる)

- **大規模のファイルや、データベース**にアクセスし、大量の構造化データを処理することができる(一般的なスプレッドシートで処理不能な規模感への対応力)

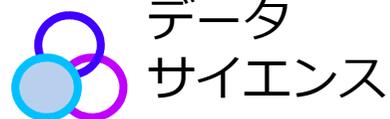
Source: The Japan Data Scientist Society discussions

## 棟梁レベルと業界代表レベルを分けるもの



ビジネス

- Senior
  - DS
  - (業界代表レベル)
- 組織や市場全体にインパクトを出せる
  - 対象とする事業全体、産業領域における課題の切り分け、テーマ、論点の明確化ができる



データサイエンス

- 新しいアルゴリズムや分析手法の開発ができる
- 複数のパラメータやアルゴリズムの選択などを含む適切な分析アプローチの設定ができる



データエンジニアリング

- 複数のデータソースを統合したデータシステム、もしくはデータプロダクトの構築、全体最適化ができる

Full DS (棟梁レベル)

- 分析を通じオペレーション上の革新が実現できる
- 仮説や可視化された問題がない中で(フレーミングされていなくても)、適切に問題を定義し、解き、価値を見出すことができる
- 特定の課題領域において、課題と取組のテーマを構造的に整理し、見極めるべき論点をクリアにできる
- 組織全体を見渡して、必要なデータの当たりをつけることができる

- 多変量解析の概念を理解し、活用することができる
- 機械学習、自然言語、画像処理のアルゴリズムを理解し、適切に活用、問題解決することができる
- モデルを構築できる

- 分析に必要なデータフォーマット、取得蓄積仕様等を設計できる(分析のためのデータシステム設計ができる)
- 問題設定に応じた新規データマート設計ができる
- 構造化データ/非構造化データを問わず、分析システムを設計できる
- 構築したモデルを実装できる
- データ分析を作ったシステムを自身で構築できる

Source: The Japan Data Scientist Society discussions

詳細は、データサイエンティスト協会のプレスリリースを参照ください。

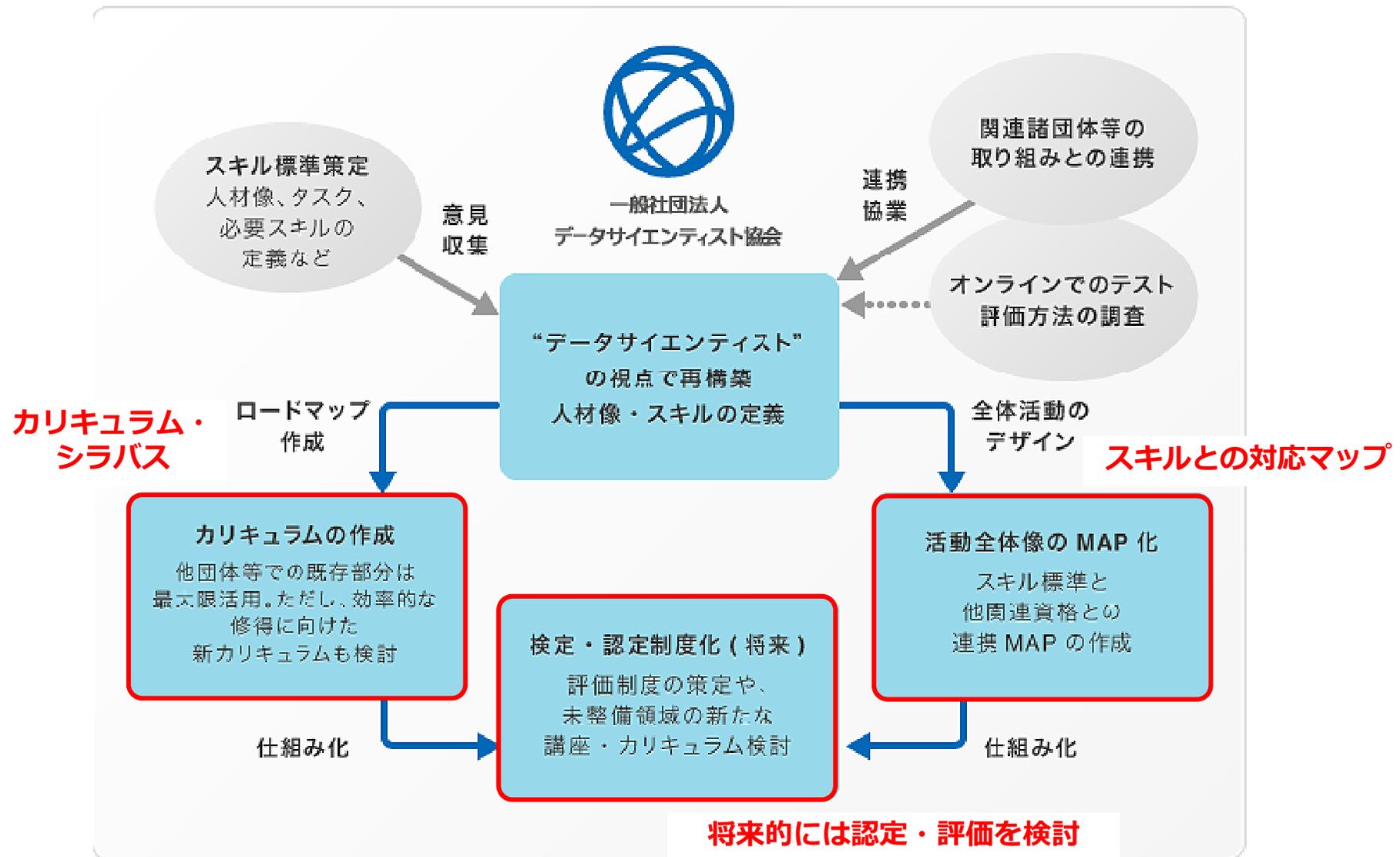
<http://www.datascientist.or.jp/news/2014/pdf/1210.pdf>

- データサイエンスの道に入る人がどこから始めたらいいいのか？
- どのように成長していったらいいいのか？
- どうやって本物のデータサイエンティストになるのか？
- どうやって人材を配置するのか？

Source: The Japan Data Scientist Society discussions

1. データサイエンティスト協会について（3分）
2. 産業界におけるデータ活用の実態（7分）
3. データサイエンティストの定義（10分）
4. **今後の活動予定（5分）**

# 今年度の主な活動予定：定義の普及・啓蒙の育成活動



## 今年度の主な活動予定：勉強会・セミナーの定期開催

- 昨年度は全5回の木曜勉強会を開催し、おかげさまで毎回公開後即満席です。
- 今年度は木曜勉強会に加え、特徴のある有償ツールをテーマとする木曜セミナーとの二本立てで定期的に行っていく予定です。

予定	開催概要	申込者数
第1回 (10月)	Pythonによるデータ分析および最適化 (構造計画研究所 齊藤氏)	申込数：40人 キャンセル 待ち：33人
第2回 (10月)	①クレンジングからビジュアライズまで！実践！データ解析超入門！ (電通 近藤氏) ②ビッグデータの0次分析手法と適用例のご紹介 (サイバネットシステム 矢野氏)	申込数：65人 キャンセル 待ち：115人
第3回 (11月)	データ市場への誘い ～データジャケットから起こすチャンス 発見プロセス～ (東京大学大学院工学系研究科 システム創成学専攻所属 大澤教授)	申込数：150人 キャンセル 待ち：51人
第4回 (12月)	クラスター分析の基礎と総合通販会社での活用例 (Albert 山川氏)	申込数：150人 キャンセル 待ち：57人
第5回 (12月)	Tableauで学ぶ最先端のデータ・ビジュアライゼーション (Tableau 並木氏)	申込数：130人 キャンセル 待ち：0人

## 今年度の主な活動予定：勉強会・セミナーの定期開催

- 本勉強会の資料はすべてWeb上で公開しています（今後、動画公開も検討）。
- 詳細はIT勉強会・セミナーなどエンジニアのためのイベント情報検索サービスのdots.  
(<http://eventdots.jp/>) 参照ください。

The screenshot shows the website interface for 'dots', an event information search service. The main event listed is 'データサイエンティスト協会 木曜勉強会 #02' (Data Scientist Association Thursday Study Meeting #02). The event date is 2014/10/16 (Thursday) at 19:00. The event details include the location at the 3rd floor seminar room of the Data Scientist Association and the address in Tokyo. The event is free of charge and has 65 registrants. A sidebar on the right contains a promotional banner for the event, listing topics like 'Data analysis from clustering to visualization' and 'Big data 0th order analysis methods'. Below the banner, it states 'This event has ended'.

dots. IT勉強会・セミナーなどエンジニアのためのイベント情報検索サービス

Report available 開催日：2014/10/16(木)19:00

### データサイエンティスト協会 木曜勉強会 #02

クリップする

イベント情報 イベントレポート

Tweet 61 +1 5 B! 1 いいね! 59 シェア

R言語 機械学習

#### イベント詳細

📅 イベント：データサイエンティスト協会 木曜勉強会 #02

🕒 日時：2014/10/16(木)19:00～21:00

📍 開催場所：一般社団法人データサイエンティスト協会 3階 セミナールーム

📍 住所：東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル (株式会社ブレインパッド内)

👤 定員：定員数：65人 申込数：65人 キャンセル待ち：115人

一般社団法人  
データサイエンティスト協会  
**木曜勉強会 #02**

① クレンジングからビジュアライズまで！  
実践！データ解析超入門！  
② ビッグデータの0次分析手法と適用例のご紹介

2014.10.16 THU 19:00 START

参加費 **無料**  
定員40名

[会場] 一般社団法人データサイエンティスト協会 3F セミナールーム  
[主催] 一般社団法人データサイエンティスト協会

本イベントは終了しました

dots.

# 今年度の主な活動予定：ハッカソンの開催（後編）

JST 科学技術振興機構

いいね! 830 ツイート 135

データの可能性を信じる、  
すべての挑戦者へ

2015  
**All Analytics Championship**

最優秀賞  
10万円

データサイエンス・アドベンチャー杯

エントリーを締め切りました。多数のご応募ありがとうございました  
エントリー数81チームに達成しました

一杯当日観覧希望お申し込みの受付を開始しました

- ハッカソンの開催や、開催のPR、後援等も支援します。

Keio University  
**Dig 2014**  
Digital Innovators Grand prix

Keio University | accenture

01 新着情報  
02 DIGとは?  
03 予選通過チーム  
04 入賞チーム  
05 実施概要  
06 課題  
07 審査方法・表彰  
08 審査員  
09 スケジュール

応募用紙ダウンロード  
受付終了

応募する

ヒトが助かる穴を掘れ。

▼ 最終選考結果発表!

Keio University  
**Dig 2014**  
Digital Innovators Grand prix

accenture

第3回は「デジタル時代の購買行動解明」がテーマで、4月に公開予定です。乞うご期待！



# 今年度の主な活動予定：2ndシンポジウムの開催

- 昨年有償にもかかわらず、“満席御礼/満足度9割超”と大変ご好評頂いたシンポジウムを今年も開催します。

名 称	一般社団法人 データサイエンティスト協会 1stシンポジウム ～実務者が集うデータサイエンスの最前線～
主 催	一般社団法人データサイエンティスト協会
会 期	2014年11月27日（木） 10:00～20:00
会 場	東京コンファレンスセンター・品川（東京都港区）
定 員	300名（予定）
参 加 費	一般参加者 イベントのみ：10,000円 税込 イベント+ネットワーキング（懇親会）：13,000円 税込 招待 無料



**主催**  一般社団法人  
データサイエンティスト協会

**後援** 経済産業省  
高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部  
文部科学省委託事業「データサイエンティスト育成ネットワークの形成」  
一般社団法人日本統計学会  
応用統計学会  
公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会  
一般社団法人情報処理学会  
日本ソーシャルデータサイエンス学会  
公益財団法人九州先端科学技術研究所  
ビッグデータ&オープンデータ研究会 in 九州 (BODIK)  
慶應義塾大学SFC研究所データビジネス創造・ラボ  
データエクステンジコンソーシアム有限責任事業組合  
一般社団法人ウェブ解析士協会

**協賛**

株式会社マクロミル  
一般社団法人人工知能学会  
電子情報通信学会 情報論的学習理論と機械学習 (IBISML) 研究会

**協力** 

**メディア協力** 





# 会員制度のご紹介

当協会では、個人会員（無料）、法人会員、連携団体を募集しています。ご興味がありましたら是非ご登録・お問い合わせをお願い致します。

<http://www.datascientist.or.jp>

一般社団法人  
データサイエンティスト協会

サイトマップ お問い合わせ

HOME データサイエンティスト協会とは ニュース 活動内容 資料ダウンロード 入会のご案内

データサイエンスに精通した  
プロフェッショナルの育成を目指して

データサイエンティスト協会について

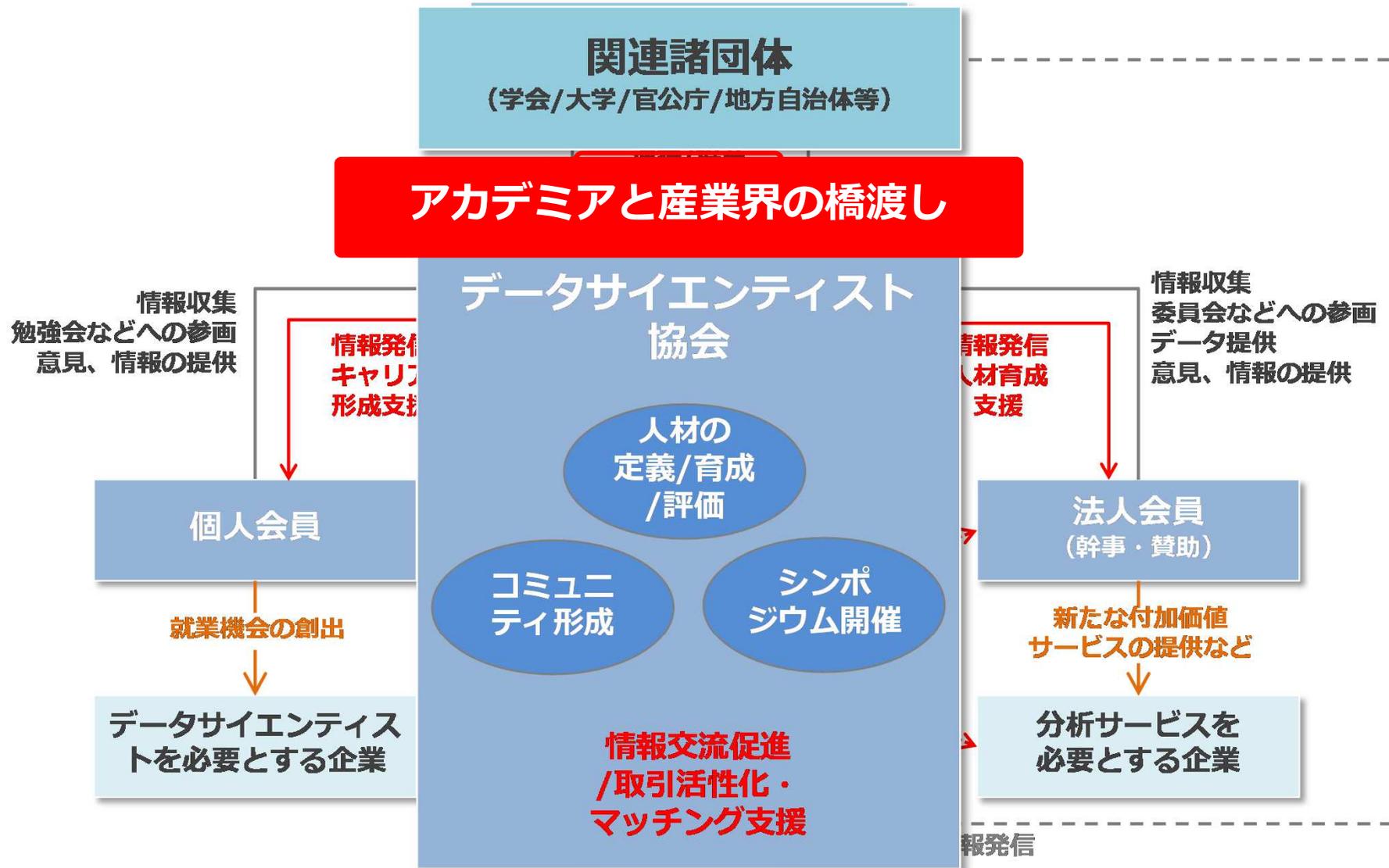
当協会は、新しい職種であるデータサイエンティストに必要なスキル・知識を定義し、育成のカリキュラム作成、評価制度の構築など、高度IT人材の育成と業界の健全な発展への貢献、啓蒙活動を行っています。

また、所属を超えてデータ分析に関わる人材が開かれた環境で交流や議論をし、自由に情報共有や意見発

入会のご案内  
MEMBERSHIP

最新情報を

# アカデミアのみなさまへ ネットワーク形成のご依頼



## アカデミアのみなさまへ

- みなさまで、以下にご関心がある方がいらしたら、ぜひ、弊社までお知らせください。

(会員企業とのマッチング)  
インターンシップ  
産学連携、共同研究

(委員会活動への参画)  
育成カリキュラム策定、など

(イベントの企画)  
学生向けのデータ分析コンペティション、など

ご静聴ありがとうございました。



DataScientist  
Society

本件に関するご質問・お問い合わせ窓口  
一般社団法人データサイエンティスト協会 事務局  
〒108-0071 東京都港区白金台3-2-10 白金台ビル  
Tel:03-6721-9001 / Fax:050-3153-1219

[info@datascientist.or.jp](mailto:info@datascientist.or.jp)

データサイエンティスト協会の最新情報を発信しております

- ・ウェブサイト <http://www.datascientist.or.jp>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/DataScientist.jp>
- ・twitter @DataScientistPR